

**令和4年度 第1回
市民と議会の懇談会概要**

**令和4年 10～11 月開催
宮 津 市 議 会**

市民と議会の懇談会—結果概要—

(令和4年10～11月開催)

1 班編成

班	構成議員	担当地区
1班	◎久保 浩 堀 未季 松浦 登美義 小濃 孝之 坂根 栄六 星野 和彦 長本 義浩	上宮津、栗田、府中、 養老、日ヶ谷
2班	◎宇都宮 綾 幾世 恭典 河原 末彦 松本 隆 安田裕美 横川秀哉 徳本良孝	宮津、由良、吉津 日置、世屋

◎:班長 (※各会場とも、正副議長どちらか参加)

2 開催日時

●地区別

日	時	場 所	担当	参加者数
10月26日(水)	19:30～20:58	栗田地区公民館	1班	29人
	19:30～21:00	由良地区公民館	2班	13人
10月27日(木)	19:30～21:20	養老地区公民館	1班	9人
10月28日(金)	19:30～20:56	日ヶ谷地区公民館	1班	8人
	19:00～20:45	世屋地区公民館	2班	10人
10月29日(土)	19:00～20:20	府中地区公民館	1班	10人
	19:00～20:30	日置地区公民館	2班	18人
10月30日(日)	18:00～19:58	福祉・教育総合プラザ	2班	17人
10月31日(月)	19:30～21:18	吉津地区公民館	2班	14人
11月1日(火)	19:00～20:58	上宮津地区公民館	1班	20人
計		10会場		148人

●子育て世代対象

日	時	場 所	担当	参加者数
10月30日(日)	10:00～11:30	福祉・教育総合プラザ	全議員	6人

3 報告概要、意見等

- 第1班の報告 2 ～ 12 ページ
- 第2班の報告 13 ～ 23
- 子育て世代対象の報告 24 ～ 25

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月26日（水） 午後7時30分～9時	
開催場所	栗田地区公民館	
出席議員	班長：久保 浩 議員：長本（副議長）、松浦、堀、坂根、小濃、星野	
参加人数	29人	
議会報告の内容	9月定例会の概要	
報告についての主な 質疑・意見	Q 下水道会計の債務10億600万円は、宮津市の分か、それとも与謝野とか含む広域全体か。 A 宮津市のみ。企業会計制度に移行し収入が2億5千万円、経費差引き後5億円の赤字。事業開始時に見積もった人口が継続されれば、こうはならなかったが、人口減により収入が減り、累積赤字が現在10億600万円である。	
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか	
意見等集約結果	政策提言につながる可能性のあるもの	
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	
	その他事項	<p>獣被害について 市民：各地区の農家組合などで檻の設置、電気柵、防護フェンスを張る等対応している。鹿は2mくらいのフェンスでは、飛び越えるなど苦労している。檻に入れば猟友会に連絡するも被害は多く決め手がない。</p> <p>祭りについて 市民：コロナ禍でも今年の一部神事を実施したが、太刀振りはできず継承方法などに悩んでいる。 市民：小寺では、今年神事のみ実施した。例年、子供太鼓の行事をする。練習を1～2年休むと忘れるので、今年は地区公民館において発表会形式で実施した。</p>

	<p>不耕作地について 市民：不耕作地が増える中、集落で耕作者を探したり、自治会で耕作するも、徐々に無理が出てきている。山間の不耕作地は所有者がわからず、荒れ放題になり境界も不明になりつつある。</p> <p>河川について 市民：大雨などで土砂が溜まると海へ流れにくくなり、内水で氾濫し農地や宅地に浸水してくる。行政も浚渫してくれるが、毎年は応じてもらえない。 市民：大雨など続くと、あちらこちらで浚渫が必要で追いつかなくなる。中山間補助事業などで重機を利用し地元でも浚渫したが大変である。</p>
<p>行政への要望等</p>	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月27日（木） 午後7時30分～9時20分
開催場所	養老地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：長本（副議長）、松浦、堀、坂根、小濃、星野
参加人数	9人
議会報告の内容	9月定例会の概要
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q クリーンセンターの分担金やゴミの分別方法、また分別資源としてセンターの収入になるのか。</p> <p>A 令和3年度までは分担金の算出方法は人口割り。令和4年度からは排出量割に変更した。宮津市は事業系ゴミが多く、分担金も2町に比べ多い。鉄類やアルミ缶など再利用できる資源ごとに分別している。販売可能な物は業者へ販売、クリーンセンターの収入となる。</p> <p>Q 環境組合も消防組合のように、ごみの収集運搬やクリーンセンターの経費など住民に周知し、減量化を呼びかけるべきではないか。</p> <p>A ご意見としてお聞きする。</p> <p>Q 一般会計決算の実質収支4億8千万円の主たる要因は。</p> <p>A 5億円近いコロナ禍に係る交付税等（歳入）とイベントがほとんどできず支出されなかった不用額の約1億円（歳出）などであり、一過性のものである。</p> <p>Q 一般会計、特別会計、企業会計で約300億円、全会計における純債務は160億円程度になるはずだ。少子高齢化で人口減少の中、全額返済は厳しいのではないかと。毎年、宮津市で300人程度減少し、全国では60万人程度減少している。年金加入期間も65歳まで延長するような話も出る中で、国民年金から介護保険料など天引きされ生活がますます苦しい。議員もそういう点をしっかり考えるべき。</p> <p>A ご意見としてお聞きする。</p> <p>Q UIJターンの推進事業の1,010万円の内容は。</p> <p>A UIターンのサポートセンターの運営経費である。</p> <p>Q 空家登録だけでなく、畑などセットで提供できるような話にして進めないと移住が増えないのではないかと。また、移住してきた人が、他へ移らないような魅力ある宮津市にすべきだ。</p> <p>A ご意見としてお聞きする。</p>

懇談会のテーマ		地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか
意見等集約結果	政策提言につながる可能性のあるもの	
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	
	その他事項	<p>道路などの課題について</p> <p>市民：長江地域は荒天時に海から砂が国道に上り、スリップ等して危険である。また、近くの下水溝を海水が逆流し、その都度土木事務所に連絡して砂を除去してもらおうが、対処療法でしかなく、根本解決にはならない。</p> <p>市民：府道船ヶ谷～奥波見線は、枝が伸び放題になっており、雨風が強い時は、枝が折れて通行に支障がある。管理されてないと迂回路の機能を果たせない。</p> <p>地域活性化の取り組みについて</p> <p>市民：春は地元で採れたタケノコや農産物、海産物など国道横に建てた多目的施設で販売し、年間通じて頑張っている。</p> <p>地域の困りごとについて</p> <p>市民：奥波見は、自治会長は1年交代できず、何年も自治会長をしなければならない。若い方が1年務めてくれたが、翌年からはまた、元に戻った。</p>
行政への要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校跡地利用の進捗状況が市から見えてこない。行政が地元へ足を運び、情報提供など調整すべき。 ・養老小学校波見分校の老朽化が激しく危険である。対応をされたい。 	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月28日（金） 午後7時30分～8時56分
開催場所	日ヶ谷地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：長本（副議長）、松浦、堀、坂根、小濃、星野
参加人数	8人
議会報告の内容	9月定例会の概要
報告についての主な 質疑・意見	Q コミュニティスクールの取り組みで、地域住民が学校に接する機会が増えている。（タブレット学習では）教師の操作習熟度が気になる。習熟度の向上を望む。 A ご意見としてお聞きする。
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか
意見等 集約 結果	政策提言につながる可能性のあるもの
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項
	その他事項 <p>地域（農地、農業）の維持について 市民：高齢化・人口減少が激しい中、耕作地の維持を目指し、地元でUIJターンしても農業ができるよう「15日会」と名付けて、耕作者・自治会関係者・地域会議などに声をかけ、市の農業委員会も加わり昨年から話し合いをしている。前向きに進んでおり、農業委員会職員の熱意に感謝する。他のことにも市職員が熱意を持って関わってもらえるよう期待する。議員の協力も期待する。</p> <p>市民：今年度、宮津市内で3カ所、農業体験のインターンシップを実施した。他府県からの参加者があり、日ヶ谷地区も回った。こうすることで、関係人口の増加や移住・定住に繋がることも期待される。ただ、参加者が地域に入った時、宿泊所が地域内になく、宿泊場所ができることが望まれる。</p> <p>空き家について 市民：空家が日ヶ谷も増えている。（一度売買されて）物件の連</p>

		<p>絡先が地元では不明なケースもある。老朽化で周辺に迷惑がかからないか心配だ。</p> <p>風力発電の進捗状況について 市民：市や事業者から進捗状況が聞こえてこない。どうなっているのか。</p>
<p>行政への要望等</p>	<p>立自治会の有線放送に係る本線など老朽化で更新を予定している。見積で総額 100 万円程度必要。行政からの助成が 40%で市街より補助率は高いと聞いているが、わずか 25 戸で、負担が大きい。助成率をあげてほしい。</p>	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月29日（土） 午後7時～8時35分
開催場所	府中地区公民館
出席議員	班長：久保 浩 議員：長本（副議長）、松浦、堀、坂根、小濃、星野
参加人数	10人
議会報告の内容	9月定例会の概要
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 下水道の地区別の普及率を伺う。</p> <p>A 水洗化率は全体で85.5%、上宮津・宮津85.2%、栗田98.5%、須津・文珠82.2%、府中34%である。</p> <p>Q 府中は34%と高齢者が多いが、支援策はないのか。</p> <p>A 65歳以上で構成される世帯に補助制度がある。</p> <p>Q 府中と宮津の普及率が違う原因は何か。高齢者の影響か。</p> <p>A 府中はH30年・R1年に本管が敷設されたため、接続が少ない。宮津市街地は30年ほど前に敷設されており、接続率が高い。</p> <p>Q 下水道会計が赤字の具体的内容は。</p> <p>A 収入2億5千万で5億円の赤字である。一般会計から補助しているが、10億円の累積赤字である。宮津だけでなく全国で厳しい状況で、特に人口減少地域は、維持管理する財源が追いつかなくなってきている。</p> <p>Q ふるさと納税返礼品にゲノム編集されたトラフグが扱われている。日本では、安全性を検証されないまま、国が認可したと聞く。宮津には新鮮な魚があるのに、返礼品にするのは疑問に思う。議会の考えを聞きたい。</p> <p>A 賛否が分かれている。将来の食糧危機に備えて必要という意見や、安全への心配をする声もある。ゲノム編集のトラフグと明示もしており、選択権が納税した方にあり、問題ないとの意見もある。</p> <p>市民：事業者は、農林水産大臣表彰を受けたと聞く。安全でないなら表彰されないだろう。国に認められた事業と認識している。基本は、表彰を受けているという点が大事だと個人的に思う。</p>
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか

意見等集約結果	政策提言につながる可能性のあるもの	
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	
	その他事項	<p>高潮について 市民：地球温暖化の影響と思うが、8月の晴天に市道が冠水して真夏に2週間も通行止めとなった。毎年のように年に何回か発生する。対策が難しいことは地元も十分承知しているが、「どうにも対策ができない」の一言で、ずっと放置され続けていいのか。台風で更なる被害となる。土嚢を積み、市から排水ポンプを借り備えた。議員にも地球温暖化の問題を充分認識願いたい。</p> <p>地域コミュニティの維持について 市民：コミュニティが守れない。災害時の土嚢運びをするのに招集をかけると集まるのは70代、運ぶのが困難になってきている。若い世代への声かけも厳しい。若い世代が地域に戻ってくるよう働き場の情報をタイムリーに発信していく必要があると思う。</p> <p>空き家対策について 市民：仏壇や家財を寺や事業者との連携によって撤去し、空き家として登録する施策を打ち出す市町村がある。特に家財の処分問題は、空き家登録が進まない大きな一因だ。</p> <p>高齢化・鳥獣対策・人口減について 市民：(府中は) 高齢化率が50%近く、75歳以上も、国より20年近く早い。事業継続にも従業員不足が、常態化している。人口が増やせないのなら、何をすべきかを、もっと議論して頂きたい。 鳥獣被害防止の電気柵など維持管理してきた農家組合がなくなり、自治会で管理をせざるを得なくなった。それでも、1年に1回は維持管理をしているが、高齢化、人口減少で作業ができなくなると懸念している。</p>

行政への要望等	
---------	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年11月1日（火） 午後7時～9時15分	
開催場所	上宮津地区公民館	
出席議員	班長：久保 浩 議員：長本（副議長）、松浦、堀、坂根、小濃、星野	
参加人数	20人	
議会報告の内容	9月定例会の概要	
報告についての主な 質疑・意見	なし	
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか	
意見等 集約 結果	政策提言につながる可能性のあるもの	
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	<p>① 光ファイバーについて、辛皮、中の茶屋、池の谷が不通地域であり、放置状態にあるため通じるようにしてほしい。</p> <p>② 丹後天橋立大江山国定公園について、宮津市も地元といっしょに協議してきたが、多くの要望が実現できておらず、市のやり方に不信感を持っている。</p> <p>③ 自治会集会所などの改修で旧宮津町と上宮津のみ補助率が30%で、他の地区は40%であり、違う理由が不明のため見直しを求める。議員も会派なり委員会なりで、そういう違いを調べ是正して行ってほしい。</p>
	その他事項	<p>祭の継承について 市民：令和3・4年度コロナの影響で地域行事など様々な活動が制約され、地域力の低下が進行しないか懸念される。令和4年度、上宮津まつりは神事のみだが実施できた。</p> <p>鳥獣害について 市民：クマ目撃情報が多くある。熊対策が必要だ。 市民：上宮津でも檻の免許を持っている人はたくさんいるが、猟友会員でないと捕獲できない。猟友会の会費や保険など年間4～5万円必要だ。猟友会会員はどこの地域も高齢化で困っており、新しい会員を見つける対策が必要。</p>

	<p>地域の情報配信について 市民：地域情報を有線放送からメール配信（公民館から各戸）に変えた。月額一戸あたり200円の負担を頂いているが、市の防災メールと同じ方法で自治会・老人会単位で地域情報を伝達できるので、これを参考に他自治会へ展開されたらどうか。</p> <p>地区連絡所兼地区公民館について 市民：旧上宮津小学校へ移設するが、公民館以外の利用を制限する話が出ている。これまでどおりの機能を持たせるよう地元建設委員会から要望書を提出している。</p> <p>政策提言について 市民：議員も先進地視察を活かし、議会の中で議論して政策提言はできないのか。苦しいのは底辺で生活している人（生活保護制度もあるが）チェック体制から脱皮し、議会から政策提言していくべきと思う。</p> <p>時間がないため、以下の質問書を受け取った。 <質問></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 議員さんが、市民等からの意見聴取後の活動と、ヒアリング者への返答は、どのようにされているのか。プロセス報告はあるのか。 2 議員の職務は、基本行政監査だと思うが、近年の市政を見ても必ずしも良い結果は出ていない。議員として過去の議案に対する検証はされているのか。行政側への責任転嫁も多くあるように思うが。 3 過日の宮津市自治連合幹事会で、議員定数、議員報酬の妥当性の意見が出ているが、今回の懇談会で質問はあったのか。 （幹事会では、各地区懇談会で質問する予定にしていた） この件では、過去の懇談会でも数か所で質問があったように聞いているが、後の懇談会報告書では、この質問が抹消されて報告されていないのはなぜか。
行政への要望等	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月26日(水) 午後7時30分～9時00分
開催場所	由良地区公民館
出席議員	(班長：宇都宮 綾) 議員：河原末彦 幾世恭典 横川秀哉 松本 隆 安田裕美 徳本良孝
参加人数	13人
議会報告の内容	9月定例会の概要
報告についての主な 質疑・意見	Q：下水道事業は赤字が出ているが、入札制度でないものもあり、経費削減の取り組みは出きているのか。 A：工事は指名入札制度であるため、経営審査する。物品購入は、見積もり合わせを取る場合がある。下水道などの特別な事業の場合、対応できる業者が1社か2社しかないと見積もり合わせということになる。
懇談会のテーマ	地域の魅力、地域の困りごと、地域の存続について語りませんか
意見等 集約 結果	政策提言につながる可能性のあるもの
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項
	その他事項

		<p>に、宮津市や丹後地方全体の利益で考えると、トイレは重要だ。舞鶴大江インターチェンジで降りて府中へ行くまでに、まず由良川の鉄橋が見えるところがポイントである。きれいに整備されたトイレで観光客を受け入れ、帰る時にも使っていただく。「由良にも、また来よう」と思っていたことが大切である。中央海水浴場のトイレも残していただきたい。</p> <p>庄内由良地区と交流について 市民：歴史は1500年前の物語から始まり、庄内由良地区と丹後由良地区との交流は今年で、44年目を迎える。いろいろな意味で可能性を秘めている。庄内由良からは11月6日から8日まで来訪し、市長へ表敬訪問を控えている。将来的な観光事業のきっかけにならないかと思う。</p> <p>公共下水道について 市民：由良地区や栗田地区などには公共下水道はきていない。舞鶴市や伊根町は、地域ごとに浄化槽を設置し、地域の下水を処理しているようだ。宮津市の「お金がない」という問題ではない。文化的な生活には、水洗トイレが必要だ。合併浄化槽設置に300万円、点検10万円、修繕などには数十万円の経費がかかる。集落排水が良いと思う。考えていただきたい。</p>
行政への要望等		

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月28日（金） 午後7時00分～8時30分	
開催場所	世屋地区公民館	
出席議員	班長：宇都宮 綾 議員：河原末彦 幾世恭典 横川秀哉 松本 隆 安田裕美 徳本良孝	
参加人数	10人	
議会報告の内容	9月定例会の概要	
報告についての主な 質疑・意見	Q コロナ禍の中で宮津市の色々なイベント事業が減っていると思うがどの程度なのか。 A ずっと続けてきたイベント（花火大会）と新規イベントなどの主だった事業は、中止となっている。 Q 水道料金が上がったがどうか。一昨年との比較は。 A 昨年度は収入バランスが取れ、水道事業はプラス経営ができた。	
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか	
意見等 集約 結果	政策提言につながる可能性のあるもの	
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	空き家バンクの件について 市民：UIJ ターンの空き家バンク登録は改修費などの補助があるが、更にUターンを促すため、家族・親族の家の改修にも手厚い補助をすべき。
	その他事項	移住定住について 市民：世屋地区では、ふるさと会議で取り組んでおり、平成29年に移住特区を京都府から認定を受けた。世屋地区では、当該制度でこれまでに4～5件が移住されており、若手の移住者が主力となって取り組み、ふるさと会議の成果である。地域の空き家ツアーや農業体験ツアーなどのソフトの取り組みを行うとともに、ジビエ処理施設などの改修工事も行ってきた。課題は地域会議の活動メンバーが固定化していることだ。コロナ禍で止まっていた移住体験を夏に再開した。これからは集落が求めている人をいかにマッチングしていくかということ。

	<p>市民：20年前には「世屋の里協会」が世屋の活性化を行ってきた。これが先駆けではないかと思う。高齢化と人口減で、イベントなど維持するのが苦痛になってきた。</p> <p>市民：上世屋は水量が少なくなっている。移住者へ期待や、活性化したいが、水のことがある。</p> <p>市民：宮津市から、再生可能エネルギー調査のためのボーリング調査の申し出があるが、4～5年調査しないと不安である。また、しおぎり荘の水利権のこともある。夏になると水が少なくなっている現状で自然に水が少なくなってきた。</p> <p>市民：上世屋では空家で崩れている家屋が気になる。台風などで屋根が飛ばば自分達で片付けている。</p> <p>市民：古い家屋に住みたくて、リノベーションにはそれ以上の費用がかかるが、特区での180万円の助成は、大変ありがたかった。丹後は考えていなかったが、上世屋には、移住者から紹介され、何度か訪れて、移住体験施設を利用し、移住者の雰囲気良かったので移住してきた。</p> <p>ふるさと納税について 市民：地ビールを製造している。ふるさと納税の返礼品に登録していきたいと思っている。</p>
<p>行政への要望等</p>	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月29日（土） 午後7時00分～8時30分	
開催場所	日置地区公民館	
出席議員	班長：宇都宮 綾 議員：河原末彦 幾世恭典 横川秀哉 松本 隆 安田裕美 徳本良孝	
参加人数	18人	
議会報告の内容	9月定例会の概要	
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 特別会計の「つつじヶ丘団地」の分譲地について、想定していた件数の目標値を下回っている。当時、議会で予算を通した意図は何か。</p> <p>A 宮津市から近隣市町への人口流失があり、その対応策であった。地元の皆さんの山林や道路に面した部分の土地と合わせて団地造成の計画をした。モデルルームや住宅メーカー提携するなど、手法を考えながら努力してきた。令和3年度は1区画販売があった。</p> <p>Q 土地造成事業の「集合住宅の民間事業者への賃貸借など」とは、民間事業者が建設し、賃貸などを想定しているのか。</p> <p>A つつじヶ丘団地は一戸建てが前提となっているため、店舗などはできないが、その条件をもう少し緩和し、利用してはどうかとの意見が交わされたものである。</p> <p>Q クロスワークセンターと連携を図りたいとしているが、UIターン者に、「どのようなニーズで移住したのか」など、データを収集した上での回答なのか、市に伺いたい。</p> <p>A 行政は補助金を出している UI ターンの方に、一定の事情聴取をしている。地域性、収入など仕事の確保、色々な人が帰ってこれる条件を考えている。</p>	
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか	
意見等	政策提言につながる可能性のあるもの	

集約結果	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	
	その他事項	<p>医療問題について</p> <p>市民：地域住民の関心事は診療問題である。自治連は宮津市に、日置診療所をなくすことはやめてほしいと伝えてきたが、宮津市はこの案を撤回した訳ではなく、引き揚げる考えがある。「宮津市地域医療のあり方検討委員会」が設置され、令和2年度から1年間協議をし、協議結果の答申が出た。この答申では、橋北地域の診療所については再編し、拠点となる診療所整備については検討していくとなっている。宮津市には新たな診療所をつくる動きは一切ない一方、医療マースで対応する動きがある。高齢化の中で今後、重要である医療施設が確保できないことでは困る。宮津市の動きを敏感に見ていただき、状況をよく把握し、日置から医療がなくなることは絶対にないように頑張してほしいというのが、住民の願いである。</p> <p>高齢化と地域の担い手について</p> <p>市民：高齢化の中で、安心して暮らせる地域にするためには、「何が必要なのか」を考える必要がある。足の確保の問題もあり、認知症の人が増えた中で、「互い助け合う支援策をどうするか」ということに目を向ける必要がある。</p> <p>市民：住民たちによる生活支援研究会で、支援を検討している。お出かけ支援については、成相山青嵐荘のバスを使用して始めており、住民も努力している。行政だけでは解決できない。高齢者が安心して住める地域にする。議員にも高齢者対策や若者施策も含めて意識を持ってほしい。</p> <p>小学生の放課後について</p> <p>市民：公民館事業として毎週水曜日5時半まで保護者で見守りを行っている。社会教育事業である「放課後子ども教室」の事業予算をお願いしたが、難しかった。共働き家庭では、子どもが自宅待機の状況だ。学童の模索もしてきたが、学童設置が難しかったため、教育委員会とのやりとりの結果、保護者が今年度から公民館で見守りをはじめた。</p> <p>市民：日置小学校は学童がないため、保護者が週1回見守りをしている。地域住民が学校存続の思いを持っている限り、地域</p>

		<p>に学校があり、若い人が働ける環境が必要だ。そういう環境が整った所に、移住してくることもある。</p> <p>食の安全について 市民：1900年代の終わり頃から、子どもたちがアトピーや発達障害を抱えていると聞く。原因は、遺伝子組み換え食品や農薬による作物の食品摂取で起こっていると最近実証されてきた。2020年に厚労省と農水省がゲノム編集食品を認可したが、安全だとはしていない。日本は、ゲノム編集食品がネットで流通している。また、企業はゲノム編集のミニトマト苗を2021年に介護施設、2022年は小学校へ無償配布を案内している。小学2年生では、生活科の授業でトマト栽培し、子どもが食べる。2020年にできたばかりの遺伝子操作のゲノム食品だが、摂取について生物学者や消費者団体など危惧を表明している。小学校で無償配布され子どもたちがどうなるか不安がある。全国では154自治体が、ゲノムトマトの無償配布は受け取らないことを検討。京都府下でも4自治体が、受け取らないと表明している。受け取る自治体はない。5月に宮津市に受け取らないようにとお願いしたが、宮津市だけが返答ない。伊根町、与謝野町、京丹後市からは、見解をいただいた。宮津市の教育長にも要望書を提出する。議会でも、子どもたちの将来に対して、健康で健やかに育ててほしいと意見を共有して、お力添えをお願いしたい。</p> <p>議会に対して 市民：地域には色々な会議体があり、宮津市からのものを議論している。しかし、市民もよくわからないし、意見しても声が反映されていないことがある。地域の実態を市が把握し、反映されるシステムが必要である。議員の仕事でもある。住民の要望に沿った市政がづくりにくくなっていると感じている。方法を考えてほしい。住民視線を大事にして、地域を調査する必要がある。住民に寄り添うことをもちつづけることが重要だ。</p>
行政への要望等		

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月30日（日） 午後6時～7時58分
開催場所	福祉・教育総合プラザ 第4コミュニティルーム
出席議員	<p>班長：宇都宮 綾</p> <p>議員：河原末彦 幾世恭典 横川秀哉 松本 隆 安田裕美 徳本良孝</p>
参加人数	17人
議会報告の内容	9月定例会の概要
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 市税が減っている中、補助金のあるうちは保てるが、今後はどうするのか。財政健全化に向けた41億円の効果を出すという、5ヵ年計画が出され、3年経ったが、残り2年間で達成できるのか。</p> <p>A 市税の減少は人口減少が大きな要因で、60年前と比較すると半減している。令和12年度までの行財政運営指針では、収入が増加し続けるという想定はしておらず、横ばいのケースを示している。議会が行財政運営を点検し、総合計画どおり実行できているのか課題を整理し、監査・監視していく。</p> <p>Q 令和3年度決算で予算計上していたが、コロナ禍のためできなかった事業や金額はなにか。</p> <p>A コロナ禍で主なイベントはほとんどできていない。</p> <p>Q 文化が熱心なまちだと思ったが、いつの間にか、歴史資料館が、休館になった。観光客には、宮津市の歴史を感じてほしい。素敵な街や歴史を紹介するところがなく残念である。</p> <p>A 来館者数の減少と電気代など維持するためのランニングコストの問題である。</p> <p>Q ふるさと納税について、ふるさとでないところに、ふるさと納税をして減免しているが、本来のふるさと納税に立ち返るべきではなか。</p> <p>A 基本的にふるさと納税は国の制度設計だが、ふるさと宮津にふるさと納税していただける取り組みの必要があると思う。</p>
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか

意見等集約結果	政策提言につながる可能性のあるもの	
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	空き家放置の問題について 市民：隣組10軒中4軒しか住んでいない。6軒は朽ちるまで、放置しておくようで、朽ちるまで待つ人が多いような気がする。お金かけて直しても売却できずに朽ちていく場合に、市の対処はどういうものがあるのか。（白柏地区）
	その他事項	空き家放置の問題について 市民：なかなか空き家放置の問題解決が進まない。個人情報の問題があり、踏み込めない。宮津市が確認し、調査しているが進まない現状だ。また、他人の所有地に勝手に入れない。どう対応するのか。解決に向けて何らかの方策を求めたい。自治会としては放置できない問題であり、個人でも動けず、行政に頼らざるを得ない。情報は提供するので行政の方で、より一歩進めてほしい。（大久保地区）
		災害時の避難について 市民：4月ごろに避難カードが配布された。避難カードの詳しいことは自身でパソコン対応となっているが、膨大な資料である。高齢者にもわかりやすい避難方法を議会でも提案してほしい。 議会について 市民：昨年、宮津市自治連合協議会でアンケートを行った中で、「これからの市の在り方について」と「議会の問題、議員選出や議員報酬の問題について」の意見があった。現在、この2つの問題で議論している。
行政への要望等	宮津市のコミュニティルームの音響がわるく、声が反響して聞こえない。今日の議員の発言も聞こえなかった。会場の音響整備をお願いしたい。	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月31日（月） 午後7時30分～9時18分
開催場所	吉津地区公民館
出席議員	班長：宇都宮 綾 議員：河原末彦 幾世恭典 横川秀哉 松本 隆 安田裕美 徳本良孝
参加人数	14人
議会報告の内容	9月定例会の概要
報告についての主な 質疑・意見	<p>Q 財政健全化の取組で新税の動きはどうなっていたか。</p> <p>A 新税は見送った。</p> <p>Q 地籍調査結果を反映した固定資産税の課税については、全地域調査終了後、課税に反映することとなっていたが、反映のタイミングは公平性を保つものになっているか。</p> <p>A 固定資産税は地区別に地籍調査が終わったところから、結果を反映した固定資産税の徴収に入ったと全員協議会で説明を受けた。</p> <p>Q 下水道会計の収支、営業損失、累積赤字10億の欠損の関係がよくわからない。</p> <p>A 営業損失の5億は、下水の売上金から営業経費を差し引いたらマイナス5億になる。一般会計から補助も行っているが累積赤字は10億円となっている。</p>
懇談会のテーマ	地域の魅力、困りごと、地域の存続について語りませんか
意見等 集約 結果	政策提言につながる可能性のあるもの
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項
	<p>移住定住特別区について</p> <p>市民：吉津地区連合自治会に移住推進部会を設置して、具体的に進めているところで、近い将来、部会を組織化して動けるようにしていきたい。</p> <p>市民：空き家バンクに2件登録したが、全く声がかからず動きが悪い。全体的にも動きが悪いと聞いた。</p>

	<p>タケ丘団地跡について 市民：団地跡の空地は市と府が所有している。跡地利用を市で責任を持って行ってほしい。定住促進ということで元気の出る回答を市に求める。また、工事に使用している道路を整備して直接タケ丘から上がれるようにしてほしい。</p> <p>有害鳥獣被害について 市民：「農業お助け隊」というメンバーに非農家も含め20人から30人募った。電気柵の設置や草刈、農道整備などを行い、直接耕作者に負担増がないように支援している。狩猟免許もその中から2名取得した。</p> <p>多面的機能支払交付金について 市民：ハード、ソフトの流用ができないので交付金の使い勝手が悪い。</p> <p>今後の担い手について 市民：一人若者いるが、あとは70近い人が耕作者。あと10年ほどである。</p> <p>浸水対策等について 地域振興事業交付金1億7千万円をいただいた。このうち5千万円は地域無線放送に使う。1億2千万円は、今後の地域浸水対策。平場が半分浸水する状況である。災害に強い地域になるように、浸水対策をやっていただきたい。</p> <p>バイオマス発電計画について 市民：一等地のところに施設が建ち、景観への不安と騒音の問題もあり、迷惑施設である。地元があつての企業であるので市と地域とで協定を結んでほしいと要望しているが、市は何ともできないというニュアンスだ。地域との折り合いをしっかりとせよと、市もしっかり絡んでくださいと議会からも言っていたきたい。</p>
行政への要望等	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和4年10月30日（日） 午前10時～11時30分	
開催場所	宮津市福祉・教育総合プラザ 第4コミュニティルーム	
出席議員	班長：久保 浩、副班長：宇都宮 議員：徳本（議長）松本、幾世、河原、安田、横川 長本（副議長）、小濃、松浦、堀、坂根、星野	
参加人数	6人	
議会報告の内容	子ども施策の概要、議会のしくみ 9月定例会（9月補正の子育てに関する部分）の概要 近年の子育てに関する一般質問概要の報告	
報告についての主な 質疑・意見	なし	
懇談会のテーマ	子育て世代の声をきかせてください	
意見等 集約 結果	政策提言につながる可能性のあるもの	
	議会として調査・研究及び参考とすべき事項	
	その他事項	<p>子育て支援センター「にっこりあ」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用年齢に制限があり、同じ家族でも利用できる子どもと出来ない子どもができてしまう。 ・兄弟であっても利用しにくい。 （日曜日のみ小学4年生までの利用可） ・コロナ禍前までは週に2回ほど、弁当持参で子どもと一緒に来て5時間ほど過ごしていた。 ・未就学児と小学生児童とは、年齢の違いで遊び方も違うので、小学生の遊びのスペースがあったらうれしい。 ・安全に配慮してくれており、安心して遊ばせることができる。 ・外国人が利用の仕方がわからないケースを見かけた。 ・買い物の時など、未就学児の一時預かりは良いと思う。 <p>放課後の過ごし方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の一時的に預かりができる居場所がほしい。

	<p>小学校低学年の児童は、幼稚園よりも早く下校することがあるため、短時間でも、小学生の居場所があると良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いざという時に預けることのできる居場所があると良い。 ・子育て支援センターに問い合わせると、ファミリーサポートで一時預かりしてくれる登録者を紹介してくれる。登録者が顔見知りの場合は、預けやすいが、初対面の場合は、預けているケースは少ないと聞く。 ・他の子どもと関わったり、行きたい時に行ける、安心して遊べる場所が必要。 <p>子育て環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会は子どもたちに主体性を求めているが、時間がかかることであり、それを育んでいく色々な経験をする機会が少ない。 ・進学などの進路を急かす風潮がある。 ・部活動ではケガが多く、高校卒業まで医療費無料化を希望する。 ・高校生の通学時間の問題。（遠方だと早朝出発し、部活動を終わると帰宅が遅くなる） ・通学にかかる費用負担が大きい。 <p>教育問題（不登校）などについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談できる場所がなく、学校との関係性も難しい。 ・保護者も色々と手を尽くしている状態だが、学校や相談機関などからの返答もどれも同じであり、支援が十分でない。
<p>行政への要望等</p>	

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和5年1月16日 宮津市議会議長 徳本 良孝 様

班長 久保 浩